

カメラから覗く自分だけの生き物たち📷



「なんか虫いないかな～」と探索中。



撮影の合間にすべり台で楽しんだ。



地面にミミズを発見。すぐさまパシャリ。



当施設で実施しているメディア活動では、「5月の生き物」をテーマに写真撮影を行った。ここ数日は、土の中を覗くと色々な虫たちが顔をだしてくれる機会が増え、施設の中でも、ダンゴ虫の飼育を行っているお子様たちは生き物に興味津々。

鳥を見つけて、その様子を見つめながら「カメラでは納められないスピードだ」

何度も撮影にチャレンジするものの上手く撮ることができなかった。

蟻やミミズなども見つけては、全員で「蟻の大量がいたよ、蟻は、生きているものなんでも食べちゃうんだよ」とお子様たちにも生き物の特徴を教えている姿が見られ、覗きこむように観察をしていた。

アフロク新聞



↑施設説明会
お申し込みはこちら

ポピンズアフタースクール西六郷
144-0056
東京都大田区西六郷3-2-14
子育て施設
TEL.03-6428-6475

📖 学びの掲示板 📖



(上) 5月からは、新しいダンスの練習を開始「ハビット」を練習中。
(下) 特別プログラム。「粘土で作るカーネーション」をまごころを込めて作った。

SDGs「廃材を使って表現」
創造性や豊さを育んだ

12 つくる責任
つかう責任



。間もなく梅雨入りですね。子ども達は新年度の緊張がほぐれた半面、ぶつかりやトラブルも出てきました。

「雨降って地固まる」というように、一つひとつのぶつかりを通して子ども達は学びお互いに理解を深めていきます。

そんな子ども同士のかわりをていねいに見守っていきたいと思います。

今月は近くの3丁目公園で多く遊びました。足元を見るとダンゴ虫シを見つけたので、虫かごに入れて連れて帰りました。

毎日子どもたちが順番にエサを与えるなどしてお世話をしています。

今までのカメラ、メガネ、カニに加え、ダンゴシはもうすっかり当施設の家族の一員！

生き物を育てながら、命の尊さなどを学ぶきっかけになればよいと思います。

施設長より